



健康を支えあう地域づくり

● 現状と課題 ●

健康を支えあう地域づくりには、一人ひとりが健康を意識することが大前提となります。令和元年の当町における死亡者は、約半数が、がん、心疾患、脳血管疾患の三大疾病によるものとなっています。これらの生活習慣病を予防するためには、運動や食生活等の生活習慣の見直し、継続しやすい環境づくりが重要になります。

心の健康は、自分らしく生きることができるとなる大事な要素となりますが、様々な理由のストレス等から、ひきこもりや社会的孤立の原因になる心の病になる人も増え、命に関わることもあります。

新型コロナウイルス感染症など、様々な感染症予防に関する啓発活動を展開し、迅速かつ確実な感染予防を図るとともに、関係機関との連携により、危機管理体制の整備が求められています。

● 目指す方向 ●

① 疾病予防を推進します

② 生涯を通じた健康づくりを促進します

③ 地域医療の環境づくりをします

平成30年3月、住民の健康づくりや食育の実態と今後の意向を反映した「菰野町健康増進計画・食育推進計画」を策定しました。これに基づき住民、関係団体、企業、町等が、それぞれ健康づくりの取り組みを展開し、住民の健康寿命の延伸と生活の質の向上を図っていく必要があります。

● 関連する個別計画 ●

- ・菰野町健康増進計画・食育推進計画(①②)
- ・菰野町のち対策計画(①②)

住民に適切な医療を提供するためには、病状に応じて、個々の医療機関がそれぞれの位置付けにより、役割の分担を行うことが必要です。高齢化が進み、地域包括ケアシステムの構築が求められる中で、在宅医療の充実が不可欠になりつつあり、地域の中で相互に連携する在宅医療・救急医療体制が重要となっています。

● それぞれの役割 ●

町民・地域の役割	行政の役割
<ul style="list-style-type: none"> ・自らの健康を把握し、生活習慣病の予防に取り組む ・健康診断や健康づくりの教室等に声を掛けあい積極的に参加する ・介護予防、健康の維持、増進に主体的に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進に向けた情報発信を行う ・町民が参加しやすい健康診断や健康づくり教室を実施する ・かかりつけ医の定着、適切な救急医療利用を促進する